

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公表番号】特表2013-523821(P2013-523821A)

【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2013-503845(P2013-503845)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/52	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/407	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/48
A 6 1 K	9/52
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	9/00
A 6 1 K	31/407
A 6 1 P	27/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高眼圧(IOP)患者の前房内または前部硝子体投与のために構成された、高眼圧を治療するための眼内用徐放性インプラントであって、前記インプラントが、前記インプラントから前記患者の眼内への降圧剤の通過速度を制限するポリマーによって囲繞された降圧剤の芯部を含んでなり、降圧剤が、ビマトプロスト、ラタノプロスト、トラボプロスト、ウノプロストン、E P 2 / E P 4 受容体作動薬、チモロール、ベタキソロール、レボベタキソロール、カルテオロール、レボブノロール、プロプラノロール、ブリモニジン、アブラクロニジン、エピネフリン、ジペベフリン、ピロカルピン、ラトランクリンB化合物、バブタン、酢酸アネコルタブ、エタクリン酸およびカンナビノイドからなる群より選択され、降圧剤を囲繞するポリマーは、前記降圧剤含有芯部が中央に位置決めされているポリ(-カプロラクトン)チューブであって、前記チューブは一端または両端が熱封止されているか、または一端部または両端部は薬剤不透過性ポリマーによりキャップされている、前記眼内用徐放性インプラント。

【請求項2】

前記降圧剤が、眼用降圧剤の組み合わせである、請求項1に記載のインプラント。

【請求項3】

前記組み合わせが、ビマトプロスト/チモロール、トラボプロスト/チモロール、ラタノプロスト/チモロールおよびブリモニジン/チモロールからなる群より選択される、請求項2に記載のインプラント。

**【請求項 4】**

前記降圧剤が、E P 2 作動薬である、請求項 1 に記載のインプラント。

**【請求項 5】**

高眼圧を治療するために用いられる降圧剤であって、前記治療が、請求項 1 に記載の徐放性インプラントの高眼圧（I O P）患者の前房内または前部硝子体投与を含む、前記降圧剤。

**【請求項 6】**

前記インプラントが、約 10 重量パーセント～約 50 重量パーセントの降圧剤および約 50～約 90 重量パーセントのポリマーを含む、請求項 5 に記載の降圧剤。

**【請求項 7】**

前記芯部が、薄いフィラメントに押し出され、酢酸セルロースで被覆されたA P I / P C L / プルロニック処方物を含む、前記降圧剤。